

嘉山 範子
俳句二十二句

[Haiku]
KAYAMA, Noriko
22 pieces of haiku

恋はひそかに影の濃き初蜻蛉

ふいと出た背で迷い込む露草野

黄落や海見えぬ日の多き街

銀杏重なる街中に部屋が湧く

銀杏散る声は斜めに駆け登る

ライオンの寝姿に降る春の雨

ざりがにの殻で太りし杜若

恍惚となりたくて梔子を待つ

薄緑肌に冷たき美術館

バケツの縁に指添わせ狭霧摘む

湯気立てて昼の影落つ栗南瓜

踵して靴が行く怖い虹の朝

目をつむれば時雨れて呉れし前の山

産毛より生まれてきたり猫の窓

春雷や先に眠りし人の夢

星涼し腕一杯に広葉樹

この鼻とこの尻尾と視る象の夏

雲の峰たもとで人を抱く橋

先に落ちる上で軋めり蟬時雨

タスマニアアンデビルが全員消える夏

墨色の雨透かし彫る鳳仙花

背から足から剥き直す夏茜